

★「中主大好きプロジェクト」★ ～つながり中主・ぬくもり中主・はぐくみ中主～



野洲市	活動名：中主小学校地域学校協働本部	中主小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和2年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：102人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）
 ■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）
 (1) 学校運営上の課題…教職員の負担軽減
 (2) 学校と地域の課題…安全な登下校体制の確立、児童や家庭教育支援、学ぶ力向上

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
 (1) 学習活動支援
 ・生活科や社会科、総合的な学習の時間の学習支援（中主のすてき発見、福祉学習や夢の種まき学習ゲスト、九九マスター支援等）
 ・環境学習支援（魚のゆりかご水田学習、ヨシの苗植、田植え稲刈り体験学習支援等）
 ・学習補充支援（算数のびっこタイム）
 ・読み語りボランティアによる本の読み聞かせ
 (2) 登下校や休み時間等の見守り支援 & 寄り添い活動
 ・家庭教育支援員による不登校傾向児童の登校支援や、授業中・休み時間等の見守り
 ・月1回チュウズデー（小中合同あいさつ運動）の実施、愛の声かけ運動
 (3) 学校行事支援（運動会支援等）
 (4) 環境整備支援
 ・定期的な校内の除草作業&樹木の伐採等
 ・PTA&地域&学校による夏の奉仕作業、年末PTAさんと一緒にトイレそうじ
 ・読書ボランティアによる読書環境づくり（掲示物、本の整頓や修繕支援等）
 (5) 地域行事への参加（中主子ども食堂、12月チュッピーフェア、おすそわけ会）



【中主のよさを新たに発見！
魚のゆりかご水田】



【夢の種まき授業】

■ 実施に当たっての工夫
 (1) 地域・保護者等の教育活動への協力依頼発信
 気軽に無理なく参加協力をめざし、地域学校協働活動推進員が、毎活動毎に「協力依頼文」を配付
 (2) 事前事後の「かんたん打合せ」の実施
 事前の“支援の趣旨&配慮事項の確認”、事後の“次回に生かす「振り返りタイム」”
 (3) 安心安全への配慮
 協力者の事故やけが等が発生した場合のボランティア保険

■ 事業の成果
 ・地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、学校と地域を繋ぐ“より値打ちのある教育活動”を展開することができた。
 ・家庭教育支援員等地域の方の登下校見守り支援により、不登校傾向児童の登校意欲向上、家庭背景を背負った児童や家庭の癒やしと安定に繋がった。
 ・学校、家庭、地域や関係機関が一体となり、学校行事等を進めることができた。学校だけではできないことに快くご協力いただき、教職員の負担軽減に繋がった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
 ・地域協働活動推進員と地域連携担当教職員が連携し、年間活動の見通しやボランティアメンバーの把握・整理をする。
 ・積極的な地域発信をし、地域学校協働活動への理解者と新規ボランティア加入を増やす。
 ・地域ぐるみで子育てをする雰囲気高めるとともに、地域の方々への感謝の気持ちをもち表現できる児童や郷土愛の育成を図り、「子どもも大人も中主大好き」と実感できる地域づくりをめざす。

■ その他（学校運営協議会との協働等）
 学校運営協議会を毎月定例化して実施。地域と学校でどのような子どもを育てていくのかを話し合い、目標とビジョンを共有し、そのためにできることを具体的に考え、子どもを育てる当事者としてPDCAを進める主体的組織となっている。今年度は、安全な登下校システムの確立や教職員の負担軽減に繋がる“自動音声代替電話対応”等大きなバックアップをいただいた。今後も「地域の宝」である子どもをまん中に据えた取組を検討していきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）
 ■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（学校運営協議会、PTA）

報告書記入者（教頭）

地域とともにある学校をめざして

野洲市	活動名： 篠原小学校地域学校協働本部	篠原小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：作成中 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・地域は学校の働き方改革につながる取組として何ができるのか。
- ・地域学校協働活動の人材不足解消のためにどのような団体に協力を依頼できそうか。
- ・長年継続して行ってきた学習支援活動について、本来のねらいが果たされているのか記録を残し検証していく。
- ・隣接するこども園とともに9年間の取組を考えていく。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) おしゃべり会および研修会の開催

- 地域と学校、保護者の思いを互いを知るための場を設けた。
- 4月 全校縦割り遠足の下見・研修（教職員のための現地地域学習）
 - 7月 先生と地域のおしゃべり会（地域が教職員の思いを知るため）
 - 10月 保護者と学校、地域のおしゃべりパーティー（保護者の思いを知るため）

(2) 地域と合同のわくわくコンサート

- 例年コミュニティーセンターで開催されている地域の祭りや学校の音楽会を同日開催し、校区の中学校吹奏楽部の演奏や地域の発表とともに音楽会を行った。

(3) 読書推進活動

- 週に1回朝の読み聞かせと、月に1回図書整理を実施。また、週に1回あるロング昼休みの時間を利用して「しのっこサロン」を開催。「トリックアート」をテーマにイラストや絵本の世界を紹介した。



【 おしゃべりパーティー 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・熟議や研修を行う時には「無理なく」「楽しく」をモットーにしている。
- ・篠原らしさを大切に、継続可能な在り方を目指して進めている。

■ 事業の成果

- ・運営協議会（準備会）で協議したことを着実に実践につなげた。教職員全体での現地学習は、実体験によって地域の良さを学ぶことができた。歴史的な財産である夕日ヶ丘の整備を行い、学習等に活用できるよう準備が進められた。
- ・地域と合同で音楽会を開催するのは初めての試みだった。児童は中学生や地域の発表から様々な刺激を受け、地域の方から賛同の声や今後の参考になる意見を収集できた。



【 地域と合同のわくわくコンサート 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・保護者や地域住民へ広く周知し、学校ボランティアや地域ぐるみの子育てに関心を持ってもらう必要がある。
- ・熟議のため「おしゃべり会」という形を大切に、テーマ別・学年別など目的に応じて継続していく。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・運営協議会の設置初年度だったが、コミュニティ・スクール準備委員からスムーズに移行することができた。今年度は、学校の現状や課題、家庭・保護者の困り事や関心事、地域が抱えている問題などを洗い出すことを目標にして取り組んだ。教職員と運営協議員（地域）、保護者とのおしゃべり会での声をもとに、次年度への課題整理ができた。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員 ）

祇王の子どもを地域ぐるみで育てる取り組み

野洲市	活動名 : 祇王小学校地域学校協働本部	祇王小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：70人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・学校の課題を挙げ、それをもとに祇王小学校の職員の働き方改革を探るようにした。
- ・ボランティア派遣について、妓王まちづくり推進協議会とさらに連携して進めていく。
- ・PTA活動について、現状の把握と次年度以降の動向について確認した。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ①学校運営協議会（6/21(水)、10/28(土)、3/1(金)予定)
- ②ボランティアの派遣
 - ・児童クラブ活動（グラウンドゴルフクラブ）の指導
 - ・5年生・6年生家庭科（手縫い、ミシン）の指導補助
 - ・5年生「ほほえみ祇王米」圃場提供、田植え、稲刈りの指導
 - ・スクール農園の草刈り・畑の耕し
 - ・図書室蔵書整備・お話会の開催（図書館司書の協力を得ながら）
- ③スクールガードによる登下校の見守り



【スクール農園の草刈り・耕し】

■ 実施に当たっての工夫

- ・ボランティアの派遣については、地域コーディネーターを窓口にして地域の人材に声をかけて指導補助・協働作業として来校してもらった。

■ 事業の成果

- ・学校運営協議会が始まり、地域と学校が連携して学校運営を行うことの意義が確認できた。
- ・地域で子どもを見守るという土壌ができていたので、ボランティア派遣やスクールガードがスムーズに行われた。



【お話会での手作り紙芝居】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校運営協議会での熟議を経て、今までよりさらに地域の協力を得ながら教職員の働き方改革につながる学校運営を進めていくことが課題である。
- ・地域、PTA、学校が連携しやすい体制をつくっていくことが働き方改革につながる。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校の困り感や要望を学運協に挙げ、それをもとに熟議を重ねることでよりよい学校運営ができるようにしていく。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（教頭）

「三上を誇りに思い、三上を愛する子に！ ～地域の人とともに～」

野洲市	活動名：三上小学校地域学校協働本部	三上小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成25年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：個人登録9人 SG登録185人、同窓会役員7人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 ■その他（同窓会）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・これまでの学校応援団や同窓会等における取組を、どのようにつなぎ、よりよい活動へと移行していくか。
- ・地域の行事や取組で、児童も参画しながら継承していけるものには何かがあるか。どのようにしていけばよいか。
- ・「できるときに、できる人が、子どもたちのために協力していく」ことを大事にしたい。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 天保義民フィールドワーク～土川平兵衛さんに学ぶ～（6年生）

6年の総合的な学習の時間において、郷土の偉人である「土川平兵衛」ゆかりの地を巡り、天保義民の思いや生き方について地域ボランティアの方から学んだ。10月15日に行われた天保義民祭にも希望児童が参列し、地域への思いを深めることができた。



【 瓢箪の種抜き作業 】

(2) 瓢箪の栽培と作品制作（4年）

学校応援団ボランティア2名の協力により、瓢箪のための土作りや環境整備をしていただいた。その後、苗の植え付け時にも児童に指導していただき、一緒に植えるとともに、9月の収穫後には、瓢箪に穴を空け、水に浸ける作業もしてくださり、1ヶ月後、児童とともに種を抜く作業も協力いただいた。乾燥させた瓢箪に、児童が絵付けし、作品として、学校玄関に展示している。



【 家庭科ミシンボランティア 】

(3) 家庭科ミシンボランティア（5・6年）

5・6年生の家庭科でミシンを使った制作活動の際に、地域ボランティアの方に協力いただき、ミシンの調整や使い方のサポートをしていただいたおかげで、安心して学習を進めることができた。

(4) その他の活動

- ・三上山登山の見守り（3～6年） ・田植え・稲刈りなどの稲作体験（5年）
- ・ずいき祭りの紹介・たで寿司づくり体験（3年） ・左義長体験（全校）
- ・マラソン大会時のコース見守り（全校） ・図書館ボランティア（年間）
- ・愛校清掃活動（除草作業） など

■ 実施に当たっての工夫

- ・学校からの依頼支援については、活動ごとに、協力いただけるボランティアを調整・決定している。
- ・学校運営協議会や同窓会の方々の協力も得ながら、三上の子どもたちを、三上の地域でサポートする体制づくりを進めている。

■ 事業の成果

- ・様々な活動において、地域ボランティアや学校応援団ボランティア、同窓会の方々などの協力を得て、児童が郷土（三上）の自然や人々、文化などのよさや素晴らしさを学ぶことができた。
- ・地域の方からも、児童との関わりやつながりができることを喜んでいただいている。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域学校協働活動推進員を中心に、学校の取組への協力だけでなく、学校から地域行事への参画の仕方等についても検討を図る。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 □地域連携担当教職員 □その他（

）
報告書記入者（教頭）

やすっこの育ちを支える活動 ～目指そう、応援から協働へ～

野洲市	活動名： 野洲小学校地域学校協働本部	野洲小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：55人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（学校応援団役員会）

- 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）
 - ・【みんなが明日また来たいと思える学校に】という児童が考えた目標について議論。新入生、保護者、在校生、教職員にも活用できるSOSホームを中心とした地域マップづくりを実施することとした。
 - ・野洲小学校の児童に育てたい力について。明るさ、素直さ、等本校の子どもの長所を確認するとともに、これからの時代を行く抜くために育てたい力について議論。“支援しすぎていないか”を考えていきたい。

- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）
 - ・朝の読み聞かせ：朝学習の時間に各クラスへ赴き絵本の読み聞かせを実施
 - ・図書美化活動：図書室の整備、図書の整理・修理・蔵書管理等を実施
委員会活動補助
 - ・学校環境整備：落ち葉清掃、草刈り、給食エプロン修理
 - ・授業応援（例）：5・6年生家庭科授業指導補助、4年生江州音頭指導支援
3年生昔のくらし学習支援、2年生栽培活動応援
2・3年生町探検支援、4年生防災学習支援
各学年校外学習応援、夏休み学習会スクールガード



【えほんにくぎづけ（朝の読み聞かせ）】

- 実施に当たっての工夫
 - ・学校からの依頼に応じてコーディネーターが支援ごとに参加サポーターを調整決定し、学校と打合せ等丁寧に行っている。
 - ・取組内容について【応援団通信】を作成し配付するとともに、HPに掲載。（兵庫県内小学校のCS会議にオンラインで参加し、紹介した）

- 事業の成果
 - ・児童にとって―地域の力が学校に入ることにより、より豊かな学習効果を得られた。
 - ・教員にとって―支援が必要な児童への支援が充実し、安全に安心して教育活動を行えた。
 - ・地域住民にとって―学校や地域の子どもたちが身近に感じられ、学校での教育活動に積極的にかかわることができた。



【江州音頭指導支援】

- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望
 - ・「できる時にできる範囲で」温かい支援をモットーに取り組む。
 - ・やすっこのにつけたい力を明確にしながら、支援しすぎない支援について検討する。
- その他（学校運営協議会との協働等）

地域と学校でどのような子どもを育てていくのか、具体的な話し合いを進め、目標とビジョンを共有し、子どもを育てる当事者として主体的組織づくりを行っていく。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 校長 ）

コミュニティ・スクールの活動開始元年 可能性を探る

野洲市	活動名：北野小学校地域学校協働本部	北野小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成23年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：103人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [学校応援団フェスタ、夏休みルーム、学校図書館の椅子再生体験]			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・学校運営協議会並びに地域学校協働活動等をいかに地域へ周知するか。
- ・委員が、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動などに関して十分な理解を得るべきであること。
- ・地域（企業）との連携活動の可能性について。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

◎ボランティアが依頼を受けて活動するもの

- ① 学習支援（家庭科、校区探検協力、生活科：サツマイモ栽培、調理実習 等）
- ② 読み聞かせ（全クラス1回/年、10分/回、昼休み後）
- ③ 環境整備（除草活動、学級園（畑）整備、植栽整備）
- ④ その他（給食エプロン修繕、活け花、賞状筆耕、講師手配）

◎地域学校協働活動として自発的に活動するもの

- ① 「図書館プロジェクト」（恒常的な学校図書館の環境整備活動）
- ② 「夏休みルーム」（夏休み期間中の児童の居場所づくり事業）
- ③ 「親子でチャレンジ！椅子再生体験」（学校図書館の環境整備に親子で参画） 【 応援団フェスタで講師を務める児童 】
- ④ 「見守り活動」（登校時）
- ⑤ 「学校応援団フェスタ」（地学協の各種活動の周知、児童参画）



■ 実施に当たっての工夫

◎授業支援に関して

- ・依頼に際し各授業のめあてを聞き取り、伝えることで、ボランティアの目的意識を醸成した。教員の思いをしっかりと聞くことが、ずれのない支援につながる。
- ・授業支援後はボランティアの意見等を集約し、逐次報告を担当教員に届けた。結果、継続支援が必要な授業において、回を重ねるごとに授業改善が図られた。 【 親子で椅子の張替えに挑戦する様子 】



◎自発的活動に関して

- ・「教育活動や児童に有益であること」を念頭に計画し、学校の理解と協力を得るプロセスを急がない。
- ・活動のめあてや振り返り等は、協力してもらったボランティアにも還元し、達成感を持ってもらえるようにしている。
- ・「学校応援団フェスタ」で児童の参画を促し10名が大人と共に活動した。

■ 事業の成果

- ・「めあて」をたずね続けることで、教員の「ボランティアに求めること」への理解が深まった。
- ・「めあて」を伝え続けることで、ボランティアの「子どもたちの学習に対する関心」が高まった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・教職員は依頼する人、地域人は協力する人、という棲み分けが綺麗に整い過ぎている。課題に気づき「変えたい」と思うことで当事者意識が生まれるのだとすれば、教員と地域が互いを知る機会を設け、課題を共有する必要があると考える。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校が目指す教育の姿やCSを導入すること、地域学校協働活動に関する実践等をパネルにし、地域の夏祭りで発信した。
- ・親子環境整備活動を地域（企業）と連携して実施した。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ 依頼者となる各教員 ）

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

チュッピーの会 学校運営協議会とともに「地域とつながる中主っ子」

野洲市	活動名： 中主中学校地域学校協働本部	中主中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和元年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：20人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 □郷土学習 ■その他 [あいさつ運動]		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ■行政 □その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

・あいさつ運動 ・チュッピー弁当づくり ・チュッピーフェア ・昼休み見守り活動

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

(1) 学習支援

・放課後こつこつ教室への学習支援 ・総合的な学習「このまち大好きプロジェクト」の講師
 ・チュッピー弁当づくり ・特別支援学級生活単元学習の農業指導

(2) 読書活動

・昼休みの図書室の運営、見守り ・図書室の環境整備 ・幼稚園への読み聞かせ活動

(3) 子どもの見守り

・昼休みの見守り、生徒とのふれあい

(4) 環境整備

・夏季休業中の除草活動 ・校内の樹木の剪定
 ・「キラキラ中主タウン」自治会との連携行事 ・長期休業中の地域貢献活動

(5) 地域行事への参加

・中主学区チュッピーフェア ・共同募金活動



【 とどけよう チュッピー弁当 】

■ 実施に当たっての工夫

地域学校協働活動推進員の方と連携を大切にし、チュッピーの会（地域学校協働活動会議）を月1回計画した。

■ 事業の成果

・チュッピーコミュニティサークル（ボランティアサークル）を立ち上げ、地域の支えもあり生徒の自主的な活動として取り組むことができた。大人だけの意見だけではなく、生徒たちと推進員の方々と一緒に話し合う場をつくることができたことは大きかった。
 ・地域の方とのふれあいや、温かい声掛けにより、生徒たちの笑顔が増えた。
 ・将来地域を担う生徒の育成につながった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

(1) 教職員の意識改革

地域学校協働活動は、生徒の教育効果のみならず、教員の負担軽減にもつながることもふまえて、教員が地域と積極的につながるよう意識を高める。

(2) 地域と自分との関係

生徒自ら地域の一員であるということを自覚し、自分の住む地域との関係性を見つめ直し、生徒の自発的な活動に発展させることを大切にする。

(3) 地域と学校・生徒との熟議

熟議には地域と学校だけではなく、生徒が参加できるようになることが大切である。生徒に付けたい力を考え、主体的に取り組めるよう進める。



【 チュッピーフェア 】

■ その他（学校運営協議会との協働等）

中主学区のマスコットキャラクター「チュッピー」にちなんで、「チュッピーの会（地域学校協働活動会議）」として、学校運営協議会委員6名の方を中心に、協働活動の進め方や具体的な取組について熟議している。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校 長 ■教 頭 □地域連携担当教職員 ■その他（ 教務主任・事務職員 ）

報告書記入者（ 教頭 ）

地域も学校も元気になる、地域と中学生が「近く」なる、地域も中学生を育む取組を！

野洲市	活動名：野洲中学校地域学校協働本部	野洲中学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：26人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input checked="" type="checkbox"/> その他 [人権学習]			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

地域学校協働活動年間計画 体制づくり
 地域と学校でできること やってみたいこと 学校運営上の課題 意見書の提出
 今後の課題

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

中学生が地域社会の一員として活躍するきっかけとなるように、本校に図書館ボランティアとして来ていただいている方より絵本の読み聞かせのノウハウを教わり、校区のこども園に出向き、園児に読み聞かせを行った。

校区に近江富士と呼ばれる三上山があり、三上学区青少年育成会議の後援を受けて「新春三上山登山」を計画した。多くのサポーターとともに三上山を登り、下山後は、作っていただいた豚汁を食べた。



【 絵本の読み聞かせ 】

■ 実施に当たっての工夫

読み聞かせは、初めて体験する生徒もいるので、事前に読み聞かせ講座を実施して、園児が楽しんで絵本を聞いてもらえるような工夫やアドバイスを受けた。

三上山登山では、冬山での登山になることでもあり、青少年育成会議のメンバーや学区内にある駐在所の警察官もスタッフとして参加してもらい安全面の徹底を図った。

■ 事業の成果

読み聞かせでは、園児への対応が上手な生徒が多く、キャリア教育としても効果があり、今後の生徒自身のキャリア形成にも大きく役立つと考えられる。

三上山登山では、生徒の達成感だけでなく、中学生の言動から地域の方々の中学生への関わり方や新たな「中学生観」を持ってもらう良い機会となった。



【 新春 三上山登山 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

読み聞かせは、地域学校協働活動のコーディネーター主導で実施できたが、三上山登山は、年始の行事となっているため生徒の参加数や学校の負担感に課題がある。成果の大きい事業であるので継続していきたいが、そのためにはコーディネーターや地域との連携に工夫が必要である。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

野洲市は今年度よりコミュニティ・スクールと学校運営協議会がスタートし、地域とともにある学校づくりについて協議を重ねている。地域学校協働活動もコーディネーターが中心となって取組を進めているが、学区全体を巻き込んだ取組が今後の課題であると考えている。少しずつ活動範囲を広げ、地域とともにある学校づくりに向けて努力を重ねたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（各活動に関わる担当教員）

報告書記入者（教頭）

地域総がかりとなって、子どもを育み「魅力ある学校づくり」の実現に向けて

野洲市	活動名：野洲北中学校地域学校協働本部	野洲北中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：0人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・ 将来、部活動の地域移行の実現にむけて
- ・ 生徒が地域イベントへの積極的な参画にあたっての仕掛けづくりについて
- ・ 「魅力ある学校づくり」への具体的な方策について
- ・ 教職員のCSの意識向上と働き方改革について



【 コミセンギおう収穫祭 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・ 校内の大規模な除草作業
- ・ 中学生ボランティアとして学区民運動会、自治会の夏祭りへの参画
- ・ 自治会主催の防災訓練や清掃活動への参加

■ 実施に当たっての工夫

- ・ 年度当初に自治会長会に出席し、CSの目的や今後の流れについて説明
- ・ 各地区の地区長（生徒）が各自治会長へあいさつ（顔つなぎ）

■ 事業の成果

- ・ CS元年の年。コロナ禍で地域行事が中止となっていたが、学校と地域が連携協働し、生徒は地域イベントに積極的に参画した。
- ・ 生徒は地域活動にも参加し成就感や達成感を味わい、地域住民からも笑顔が見られ、大変好評であった。



【 さつまいもの育成 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ 自治会によってCSの認知が低いのが、興味のある自治会は過度な負担にならないようにスタートした。生徒が地域で活躍できる場が与えられた。
- ・ 一方、地域住民が学校に出向く機会を作る必要がある。まだまだ、教員はCS事業について認識不足が否めない。将来的には、教職員の働き方改革の起爆剤となり得るようにしたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）

報告書記入者（ 教頭 ）